



AI半導体分野向け 高発熱負荷対応 恒温恒湿室ワークインチャンバーを発売

2025年12月、AIサーバーの信頼性評価用として、サーバー稼働時の発熱(30kW、60kW)影響下でも試験可能な恒温恒湿室ワークインチャンバー 2機種を発売しました。AIサーバーに搭載される高性能半導体は高集積化・高密度化により発熱量が増大しており、サーバーの使用環境はより過酷になっています。こうした中、サーバーの信頼性評価方法として、ASHRAE*の試験規格が推奨されています。本装置は、独自の温湿度制御システムによりサーバーの高発熱に対応でき、この試験規格に適合しています。また、新たに採用した空気循環方式や空調システムにより、試験室内の温湿度環境を均一に制御し、省エネルギー、省スペース化を実現しました。社会インフラとして重要な役割を果たすAIサーバーの信頼性確保に貢献してまいります。

※ アメリカ暖房冷凍空調学会



高発熱負荷対応 恒温恒湿室ワークインチャンバー



新規事業戦略 サーマルソリューションサービスを拡大

新規事業戦略として、サーマルソリューションサービスの拡大に取り組んでいます。2025年12月には、半導体や電子実装基板向けに「熱変形・熱画像データを用いた基板反りCAE解析結果の妥当性確認サービス」を開始しました。近年、開発・設計段階において、CAE(Computer Aided Engineering)技術を活用した信頼性解析が進んでいます。本サービスはCAEソリューションのリーディングカンパニーであるサイバネットシステム社との連携のもと、当社開発の計測システムによる熱変形・熱画像データを用いてCAE解析条件を検証し、基板反り解析の精度を向上させるものです。また、2026年2月には、半導体や電子実装基板の信頼性評価に用いる卓上型無風恒温槽ワンデバイスチャンバーをモデルチェンジしました。今後も先端技術分野の熱設計・熱対策に寄与する製品・サービスの拡充に取り組んでいきます。



熱変形計測システム

■ 富山大学 自然災害学の授業にて 「全天候型試験ラボ」を紹介し講義

2025年11月、技術開発部門の社員が富山大学 都市デザイン学部 自然災害学の授業にて「全天候型試験ラボ」をテーマに講義を行いました。当ラボは、雨、雪、霧などの環境因子を人工的に再現できる世界初の施設です。

講義では、雨や霧によって道路標識が識別しづらくなる状態など、実環境を再現した事例を紹介しました。これらを通じて、気象環境が製品や材料に及ぼす影響と、その評価を行うことの重要性について解説しました。



■ 当社社員が大阪商工会議所 「第4回活躍する女性リーダー表彰」を受賞

当社の技術管理部 部長 竹綱由紀子が「第4回活躍する女性リーダー表彰(愛称:ブルーローズ表彰)」を受賞しました。同賞は、大阪商工会議所が創設したもので、今後のさらなる活躍が期待され、後進のロールモデルとなる女性リーダーを表彰するものです。

2026年3月に行われた表彰式では、竹綱が受賞者45名を代表しスピーチを行いました。当社は今後も女性リーダー育成に向けた研修会や制度拡充に取り組んでまいります。



神戸R&Dセンターが「令和8年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞

2026年4月24日、パレスホテル東京にて天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ行われた「第20回みどりの式典」において、当社社長が表彰状を拝受しました。式典後、両陛下より労いのお言葉を賜りました。



提供 内閣府

